

「980円宅地」

9人が申し込み

全て本州在住者

【深川】深川市が10月に

1区画(約100坪)約330平方メートルを980円で販売した市有地の宅地計9区画に、本州に住む9人から購入の申し込みがあった。市は「全員道外は想定外。本州の人にとっては相当広く、超格安価格でインパクトがあったのでは」と喜んでいる。

売り出したのは、道央道深川インターチェンジに近い同市音江町「緑が丘団地」の2区画と、JR 納内駅そばの納内町北「ビオス四

季の里」の7区画。購入後1年半以内に住宅を建てることを条件とした。市は通勤圏内の旭川市などからの申し込みを想定していた。

インターネットのニュースサイトに流れたこともあり、90件の問い合わせの8割は道外から。申込者は東京や京都、兵庫などの在住者で、50代が5人いた。希望区画が一部重なっており、市が5日に抽選を行う。

深川市の人口は約2万2千人(9月末)で毎年約500人ずつ減っている。市は「今後は空き家の活用などを通じ、移住をさらにPRしたい」と意気込む。

2015
11.3
新